

東京理科大学理学部第一部応用化学科 教員公募要領（嘱託助教）

1. 公募人員	助教（任期制）（1名）
2. 任期	任期5年（2032年3月31日まで）
3. 所属	東京理科大学理学部第一部応用化学科
4. 勤務地	雇入れ直後：東京理科大学 神楽坂キャンパス 変更の範囲：なし
5. 業務内容	雇入れ直後：研究室の主宰教員と協働し、専攻分野についての学生の教授、その研究の指導、及び研究に当たる 但し、上記以外の業務を命ずることがある 変更の範囲：なし
6. 専門分野	無機化学・錯体化学関連分野、配位高分子等の多孔性固体を用いた機能性材料の創出
7. 担当予定科目	無機及び分析化学実験、卒業研究、など
8. 着任日	2027年4月1日
9. 応募資格	博士の学位を有するか、または着任時までに博士の学位を取得見込みの方。研究室の主宰者（貞清正彰准教授）と協働し、学部と大学院の教育（学生実験、研究室の卒研生・大学院生の研究指導）、研究に熱意をもって取り組むことができる方。無機化学・錯体化学、多孔性材料等に関する研究実績があり、新規な機能性固体材料の開発に興味を持って取り組んでいただける方が望ましい。
10. 提出書類	<p>(1) 履歴書（本学指定様式を使用すること） https://tus.box.com/s/416c0pxqsa8ev5tdkfhsn2lry3kddtws</p> <p>(2) 教育研究等について ・業績リスト（学術論文、著書、外部資金の獲得状況等） ※原則として、以下の記載方法に整えること。 （ア）作成年降順に記載すること。 （イ）連名・共著の場合は、記載順に全員の氏名を記載すること。ただし、連名・共著者が多い場合は少なくとも第1著者名、他何名と記載し、自身が何番目の著者か分かるように記載すること。 （ウ）コレスポンディング・オーサー（責任著者）にアスタリスクをつけること。 （エ）自身の氏名にアンダーラインを引くこと。 ・これまでの研究概要と採用後の研究計画(A4_1枚程度) ・これまでの教育活動の実績や今後の抱負(A4_1枚程度)</p> <p>(3) 応募者について照会可能な方2名の氏名と連絡先等 （氏名、所属・職位、メールアドレス、電話番号、照会可能者との関係）</p> <p>(4) 学位記の写し(学位取得証明書でも可)</p> <p>(5) 主要論文等の写し</p> <p>※照会可能な方の2名の推薦書を願います。この場合は別途ご連絡いたします</p>
11. 応募締切	2026年9月30日(水)まで
12. 書類提出先・問い合わせ先	提出先：以下の応募フォームからご提出ください。 応募フォーム： https://tus.qualtrics.com/jfe/form/SV_5A7G0a3HKWQAn5A 問い合わせ先：東京理科大学理学部第一部応用化学科主任 川崎常臣 tkawa(at)rs.tus.ac.jp 【注】(at)は@に置き換えてください。
13. その他	<p>・本学及び学部・研究科等の求める教員像及び教員組織の編成方針を以下URLからご確認ください。 https://www.tus.ac.jp/about/university/editorial_policy/</p> <p>・東京理科大学では、女性人材を積極的に育成、活用し、活躍を支援する大学となることを目標としています。女性の積極的な応募を期待します。 女性教員活躍支援のための方策（妊娠・出産なさった方、育児・介護等に取り組む方へ、仕事との両立を支援する各種制度等）について以下URLよりご確認ください。</p> <p>ダイバーシティ推進会議：https://www.tus.ac.jp/tcw/</p> <p>・育児・介護休業等取得の期間及び本学における過去の雇用状況によっては、任期延長の特例が適用される場合があります。</p> <p>・研究目的での海外の大学や研究機関への一定期間の滞在を支援する「在外研究員制度」を実施しています。</p> <p>・東京理科大学キャンパス内は指定場所以外、禁煙となっております。 https://www.tus.ac.jp/tuslife/campuslife/academy/nosmoking/</p> <p>・面接に伴う交通費等は、応募者の自己負担となります。</p>